

## 第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者支援係
担当者	浦松 良子		直通	25-5032	内線	2776

①整理番号	章	3	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤ 25. 認知症支援体制の充実	
②事業No.事業名	104. 認知症サポーター養成講座 認知症初期集中支援チーム			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	38.5%	府補助率	19.25%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

### ⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

### ⑦事業の概要及び目的

①地域で暮らす認知症高齢者が増えることが予期されるため、認知症の人とその家族が安心して暮らせるよう、認知症に関心をもち、正しく理解している市民が増え、知識や理解不足による誤解や偏見をなくすることが大切です。認知症高齢者を見守る体制づくりに向けて認知症サポーターの養成講座を開催します。
②認知症の早期診断・早期対応につなげるため、認知症初期集中支援チームでの取り組みを継続します。

### ⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	6,500,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施、オレンジライトアップ・チラシの啓発 ②認知症初期集中支援チームでの対応	4,806,047
		達成度	55.56 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)	11.11 %
R4	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	6,311,000
	実績	①認知症サポーター養成講座を実施、オレンジライトアップ・チラシでの啓発 ②認知症初期集中支援チームでの対応	3,145,898
		達成度	71.67 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)	25.44 %
R5	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	6,683,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	5,612,144
		達成度	86.1 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)	42.66 %
R6	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	1,728,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	114,220
		達成度	50.56 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)	52.77 %
R7	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	1,333,000
	実績		
		達成度	%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)	%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	①認知症サポーターの養成講座の開催実績を、定量的な活動指標とする。 ②毎月1回開催することとしている認知症初期集中支援チーム会議、年1回開催予定の認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①50% ②100%
R3	実績	①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合 ③人材育成部会による「認知症についての回答集・事例集」の作成	①31.7% ②100%(3件/3件) ③1回
R4	実績	①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①31.7% ②100%(1件/1件)
R5	実績	①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①28.3% ②0%(0件/1件) 現在も協議中。 機会を設けるもつながらず
R6	実績	①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね7か月で医療・介護につながる割合	①28.3% ②100%(4件/4件)
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの人に認知症サポーター養成講座へ参加していただくことが必要であると考えます。 チーム員会議の場を活用した支援相談などの実施を継続します。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 認知症サポーターは、認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。本市では、地域住民や商業施設、小学校など幅広い立場の人に広がっています。今後も、認知症サポーターについて周知し、認知症の見守り体制づくりを進めていきます。 認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制が構築できることを目的に認知症の専門医の指導の下、専門職が対象者に訪問を行い、認知症の包括的観察・評価に基づく初期集中支援を行っています。周知・支援相談などの実施を継続します。 また、人材育成部会による「認知症についての回答集・事例集」を作成し、在宅に関わる部会へ発出しました。
進行上の課題や問題点	(R5)認知症初期集中支援チーム員会議では、半年以内に医療機関につなげる事としていますが、家庭内にキーパーソンがない場合、機会を設けてもつながりにくく、状況をみてからの対応となるため時間を要することが課題である。第9期プランの調査結果から「認知症の相談窓口を知っている人が30%以下であるため、より周知が必要である。
変更した理由	(R6) 認知症初期集中支援チーム員会議の開催方法を変更した。これまでは対象者と対応方針を決定するチーム員会議が月1回と定められており、相談しても対応までに1カ月近く時間がかかるため対応が遅れ、会議が使いづらいものとなっていた。そこで、対象者と方針の決定は課内協議で実施し、ケース把握後から2週間以内に支援を開始することとした。チーム員会議は必要時実施することとした。
その他	